



RI 会長：ステファニー A. アーチック

2620 地区ガバナー：小泉 久司

会長：佐々木 雄二 幹事：中村 将義 会場監督：原 英登

例会：毎週金曜日 19:00～20:00

グランドホテル浜松 〒432-8507 浜松市中央区東伊場 1-3-1 Tel: 053-450-3003 Fax: 053-450-3006

E-Mail: hamamatsu-naka@ri2620.gr.jp

2024年10月4日（金） 晴 第1672回例会 週報 NO. 10

司 会：杉本靖和 会場監督補佐
点 鐘：佐々木 雄二 会長
国歌「君が代」斉唱
ロータリーソング「奉仕の理想」
シェークハンドタイム

ゲスト

株式会社浜松家守舎キュウ
代表取締役 柳本 茉希 様

会長挨拶



昨日、竜巻が起きて被害にあわれた方もいたようですが、会員の皆さんは大丈夫でしたか。

10 月に入り、渥美聡一郎さんも戻ってきました。

先週の例会には浜北 RC の会長幹事さんがいらっしゃいましたが、シェイクハンドが新鮮だったようです。今週から浜北 RC でも取り入れるとのことでした。

みなさん、高校生たちのフラダンスはいかがでしたか。あのような機会をいただき、感謝している、また 呼んでいただけるように頑張りますと学校の方も言っていました。若い人たちにはいろいろ頑張ってもらいたいと思います。

開誠館は先週、「気候マーチ」というのを街中で行い、市長にも嘆願書を出してきました。市がどれだけ動いてくれるかわかりませんが、そういう継続的な活動が

大切だと思いました。

My Rotary を見たところ、2028 年の国際大会の会場が決まったというニュースがありました。米国ミネアポリスだそうです。

幹事報告



・配布・・・ロータリーの友
会費請求書

・回覧・・・ガバナー月信
Rotary 誌

・例会後、古賀さんの歓迎会を湖清でおこないます。また、ルームで理事会があります

・次週は例会変更のため、金曜日は休会です。

委員会報告

☆杉本靖和 副社会奉仕委員長

10 月 13 日中田島清掃活動を行います。集合は 8 時に中田島海浜公園の駐車場です。雨天の場合も例会はあります。中 RC の黄色いジャンパーをお持ちください。



お祝い

《誕生日》

伊藤 真さん 17 日

《銀婚式》

栗原 伸夫さん 23 日

《金婚式》

中村 智次さん 25 日



スマイル

♪佐々木雄二さん、中村将義さん
今年度初の卓話です。浜松の街づくりに携わっている職業ということで楽しみにしています。宜しくお願いします。



♪渥美聡一郎さん

今月より復帰します。いろいろご心配をおかけしました。



♪川井啓介さん

息子がいつもお世話になっている柳本さんの卓話です。よろしくお願い致します。



卓話「街中活性化事業について」

ゲスト紹介：鈴木とも子さん



柳本さんは明治創業の瓦屋・柳本産業の二女で、浜松磐田信用金庫に16年勤務した後、2019年柳本産業に転職。瓦の魅力を伝えるために、瓦をコンセプトにしたカフェを北田町にオープン。2023年浜松家守舎キュウを設立しました。

柳本 茉希 様



浜松街中の活性化というと個人の方が多くですが、私は会社の立場と個人の立場の両方で街づくりに参画しています。

短大卒業後、浜信に勤めていましたが、子育てに専念したくて2019年に家業に入りました。

元気のない瓦業界への取り組みを考えていたところ、浜松市のリノベーションスクールを知り、個人版に参加しました。その翌年は企業版に参加し、その流れで2023年に瓦をコンセプトにしたカフェをオープンしました。そしてエリアの仲間たちと家守舎キュウという法人を設立しました。

先に柳本産業の紹介をします。高林にある創業133年の瓦を製造する会社です。今は屋根工事やリフォームを多く手掛けています。

阪神淡路大震災をきっかけに、瓦屋根が減りました。この30年で市場は9割減です。月2、3棟あった新築の瓦葺は、今では年2、3棟で、職人も減っています。屋根の工事より、屋根の修理を個人的に頼まれることが増えてきました。依頼の中でも雨漏りの修理や屋根の点検が多く、今までより小さな工事が増えましたが、直接お客様からの受注で信頼を得て技術力を向上させています。

大事なことは顔の見える営業です。もともと個人のお客様が来るようになっていなかったの、気軽に来て気軽に話をする場所を作りたいということで「gramme(グラム)」というカフェを作ることになりました。カウンターとか土間の中には瓦の廃材が入っています。施工が難しかったのですが川井建設さんにお世話になりながら作ることができました。メニューは瓦をイメージした最中、土・瓦・花という名前のブレンドのお茶などがあります。ほかに瓦作りやカリグラフィや布団作りのワークショップなど、小さいけれどもいろいろな人が集まる場所を作っています。また自分が外へ出ていきお店のことを知ってもらうためにいろいろなイベントに出店しています。そういう場所で情報発信をし、消費者の反応を見ることができ、本業につなげることができます。実際に瓦の工事依頼が4件ぐらい取れました。接点を増やした結果だと思います。

リノベーションスクールをきっかけに、浜松家守舎を作りましたが、屋根工事の私のほか、住宅業界の人、企画・設計の人がいます。私たちがやっている尾張町・北田町エリアは、学校あり、ビジネスあり、いろいろな人たちが複合的に交わる所ですが、一方足を止める機会は少ない所です。最初に出会った物件がここにありました。ごみ屋敷のような空き家でしたが、2年くらいかけてごみを片付けました。その間にいろいろな人が集まり、発酵食の食堂、製本家、野菜を売る人等8事業者がいて様々な企画をしています。強制ではなく

それぞれが自立して関わっている場所に育っています。

会社として初めてでがけたのが北田町ロビーです。町の玄関口になるように「ロビー」と名付けました。これも空き家を片付けて作りました。共同でデザインを考え、リノベーションしました。まずは知ってもらうためのイベントや街について話す企画を行いました。結構人が来ました。元々あるものをどう活かすか、元々住んでいる人がどう住むのか、それを大事にしています。商業的側面でなく、居住者も増やしたいとシェアハウスや住宅の普及のための勉強会もしています。一般の方の目に届くところは楽しそうとか、ワクワクするというイベントですが、裏では社会課題にどう向き合っているかを考えています。

私たちが動くことで、もともといる方も動いたり、私たち以外の新しく出てきた店舗もあります。

これからは地元の企業や学校との連携、住居として暮らすことの質をよくすることを目指しています

エリアの社会課題に対して実際に住んでいる人全然困っていない、その二つはイコールでないと感じる場合があります。ですが、それを私たちが結びつけることができるのではないかと考えています。

私がどう暮らしていきたいか、というところから、あなたはどうか、私たちはどうしたいのかという街づくりを緩やかに進めています。

出席報告

発表：久米崇也 出席委員長

会員数	41名
出席者数	21名
出席算定会員数	34名
出席率	61.76%

前々回出席者数
20名
前々回出席率
60.61%

